

文理科学科

福高はあなたの「みらい」を応援します！

「みらい学Ⅱ」 第2回京都大学連携講座 開催

「みらい学Ⅱ」では、今年から京都大学連携講座を開講しています。京都大学の先生方を直接本校にお招きし、文理科学科2年生の研究活動に対して専門的なアドバイスを与えていただき、研究を一層深化させていきました。

事前指導として、5月中旬に研究の進捗状況を報告シートにまとめて、担当していただく京都大学の先生方に提出しました。6月、第1回目の連携講座では、生徒の報告に対し、一人一人に個別指導をしていただき、コメントやアドバイスをいただきました。

生徒はそのアドバイスをもとに、夏季休業中に研究活動を進めていきました。

さらに、8月上旬には、作成途上のレポートを京都大学の先生方に送付し、9月15日の第2回目の京都大学連携講座において、そのレポートをもとに再びアドバイスをいただき、論文として完成させました。

校内予選として、それぞれの研究成果を研究交流会で発表し、その発表のなかで特に優秀な研究成果を発表した生徒が11月6日(土)の「研究発表会」で自分の研究成果を披露します。当日は、神戸大学大学院農学研究科 教授 土佐幸雄氏を始め、京都大学大学院情報学研究科 准教授 荒井修亮氏、京都大学物質—細胞統合システム拠点 特定拠点助教 加納圭氏、同じく京都大学物質—細胞統合システム拠点 研究員 水町衣里氏、京都大学研究資源アーカイブ 山下俊介氏など、御指導いただいた先生方をお招きし、研究成果を御講評いただく予定です。



みらい学研究発表会

日時：平成22年11月6日(土) 午前9:30～

場所：マリアージュ福知山 福知山市駅南町3-52

中学生の皆さん
ぜひお越しください！

「みらい学Ⅰ」特別講義 第3弾

京都大学総合博物館 大野照文先生 テーマは「古生物学」

9月25日(土)、土曜講座を利用して文理科学科1年生対象の特別講義を実施しました。今回は京都大学総合博物館長の**大野照文**教授から、「古生物学」に関するテーマで三葉虫について学びました。生徒は化石標本のスケッチを通して古生物学への探究心を深めました。また、グループ毎に、三葉虫の体の構造について討論を行い、仮説を提示し、大野先生のアドバイスを受けながら検証していきました。

この後も「古生物学」について研究を進めていきます。

1年6組 前田 光司
舞鶴市立和田中学校出身

今日の講演で「追究」することの楽しさを「こういう理由で、私はこのように考えます。」という風に常に根拠や理由を持つことの大切さがありました。また、たとえ、自分と相手の主張することが違い、衝突しても、しっかりとした根拠を持ち、主張すれば、相手も理解してくれるし、自分と違う意見を聞くことによって、自分の主張の問題点、欠点が見えて、とても勉強になります。今日は、とても充実した時間を過ごすことができましたと思います。



「みらい学Ⅰ」研究交流会で「経済学」の研究成果を発表！

9月17日と24日の2週にわたって、「みらい学Ⅰ」研究交流会を開催しました。この研究交流会は、6月に開催された京都大学大学院経済学研究科の植田和弘教授の特別講義「環境と経済を考える」で提示された研究テーマについてパワーポイント形式を用いて行いました。生徒は10班に分かれ、約3カ月間に渡って研究を進めてきました。その研究成果をコンピュータ上で発表資料としてまとめ、それに基づいて発表しました。

特に優秀な発表を行った2つの班は10月3日(日)に実施された文理科学科説明会で中学生や保護者の前で堂々と発表しました。



1年6組 中 良介 綾部中学校出身

今日の発表では、どの班もしっかりまとめられていて、よかったですと思います。B班とG班が中山間地域の活性化について調べていましたが、その中でも由布院の成功例は、聞いていて楽しかったです。田舎がその地域の特産物や特色を生かせば、独自のやり方で地域を活性化することができるということもわかりました。F班は自分たちと同じテーマを調べていたのに、しっかりとまとめられていて良かったし、何よりもスムーズに進んでいてよかったですと思いました。今回の課題はなかなか難しいものでみんな苦労したと思うけど、各々自分なりにまとめてあって、見ていて楽しかったです。自分たちが発表した経験を次に生かしたいと思います。